個 別 事 業（取 組）評 価

事業No.	40	施策の柱への位置付け	柱⑥ 体力づくり
事業名称	体力・運動能力、運動習慣等調査事業	担当課	スポーツ健康教育課
		当初予算額（千円）	3,623
		補正後予算額（千円）	－
		決算額（千円）	3,615

		当 初 計 画	年度末点検・評価
①	現 状（課題）とその要因	【現状】 ◆ 高知県の児童生徒の体力は、全国平均値より低い状況にある。 ※【H22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査】 体力合計点（全国順位） 小学5年男子 40位 女子40位 中学2年男子 34位 女子36位 【H23年度高知県体力・運動能力、運動習慣等調査】 体力合計点 小学5年男子52.93点（52.89点） 女子53.95点（53.29点） 中学2年男子40.62点（40.49点） 女子46.20点（45.79点） ※（ ）の数値は平成22年同調査結果	ア 正確に把握していたか （Yes ■ No □） 平成23年度のデータについては、全国調査が実施見送りとなったが、昨年度から実施している「高知県体力・運動能力、運動習慣等調査」の比較から、ほとんど変化が見られない状況であることが数字的に明らかになった。
		【要因】 ◆ 調査データの詳細な分析と課題の把握が十分できていない。 ◆ 体力向上に向けた取組の改善のためのPDCAサイクルが確立していない学校がある。	イ 十分に特定していたか （Yes ■ No □） 学校訪問や小学校体育連盟等でのヒアリングにより要因を特定した。
②	目 標（Outcome）	◆ 体力・運動能力、運動習慣等調査により学校・地教委・県の実態を明確にし、報告書等を通して周知する。 【目標数値】 ・ H23年度高知県体力・運動能力、生活習慣等調査参加率 小学4年～中学3年 実施率 100% ・ 10月末までに報告書を作成・配付 【検証（比較）方法】 ◆ 平成23年度高知県体力・運動能力、生活習慣等調査参加率 ◆ 市町村体力担当者会での協議（10月）	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか （Yes ■ No □） 詳細な報告書を活用することで、それぞれの立場から課題を明確にし、取組について考えることが必要となるため、左記の目標を設定した。 エ 目標は達成されたか （Yes □ No ■） ◆ 小学校体育主任会や地区別校長会、学校体育団体等の会で、データを基にした説明を行い、意識が高まっていることが推測される。しかしながら、実施率は100%とならなかった。（小4・6） 小学校：4年生 85%、5年生 100%、6年生 87% 中学校：1年生 100%、2年生 100%、3年生 100% ◆ スケジュールの遅れにより、報告書の作成・配付は1月となった。
③	実施内容（Input・Output）	◆ 高知県体力・運動能力、運動習慣等調査の実施 ◆ 高知県体力・運動能力、運動習慣等調査報告書の作成・配布 ◆ 全ての学校に調査用紙提出後3週間以内に調査結果を送付 ◆ 調査報告書を10月末までに作成・配布	オ 計画通り実施されたか （Yes □ No ■） 提出期限を7月末にしていたが、一部の学校で夏季休業中のため児童生徒調査ができないとの理由から、回収が遅れたため、報告書の作成が計画より3カ月遅くなった。今後は確認作業を加味したスケジュールの工夫が必要となる。

総合評価と今後の方向	目標達成度 **C** 「No」を選択した項目 **エ、オ** 【総合評価】 ◆ 体力向上の取組を効果的・効率的に行っていくためには、それぞれの学校における課題を明確にすることが必要となる。本事業では、調査実施後、3週間程度で詳細なデータが各学校に返却されるが、早い時期から取組を見直し、その後の取組に生かすことができる環境を整えるうえで、県全体の調査結果や課題分析等をまとめた調査報告書についても、できるだけ速やかに作成・配付を行う必要がある。 ◆ 体力調査の実施率は、小学5年・中学については100%であるが、小学4・6年は低い。各学校における体力向上のPDCAサイクルを確立するためにも、実施率の向上が必要となる。	【今後の方向】 ◆ 7月末の完全回収ができなかったため、スケジュールが大幅に遅れた。今後は、提出締切を7月上旬にすることで、夏季休業までに回収を完了する。 ◆ 各学校が作成する「学校改善プラン（体）」における課題を把握する方法を、具体的な調査結果から導き出すことができるよう検討する。 ◆ 「学校改善プラン」の作成に関して、継続した実態の把握をするための方法として、体力調査が重要であることを周知していく。